

13 地域医療部

医療法で制度化された医療機関の機能区分である地域の病院、診療所、歯科医院の医師等を後方支援する機能を拡充し、『地域医療支援病院』の設置基準獲得に向け、2012年度に地域医療部が新設されました。

2013年度は、地域医療部長（脳神経外科部長）のもと14人（看護師：6人（担当課長1人、担当係長1人、非常勤4人）、事務：4人（担当係長1人、非常勤1人、委託2人）、医療ソーシャルワーカー（かわさき総合ケアセンター兼務）4人）体制で業務を行いました。

I 地域医療部理念

井田病院地域医療部は、地域医療機関との円滑な医療連携を図り、質の高い、安全で安心な医療サービスを地域住民に提供します。

II 地域医療部の基本方針

- 1 かかりつけ医の要望に100%応えるように努める。
- 2 診療情報提供書を患者様のパスポートとする。
- 3 紹介患者様の治療が終了した後は、紹介元へ戻し継続医療を推進する。（逆紹介）
- 4 地域のかかりつけのいない患者様を地域医療機関に紹介し、継続医療を推進する。
- 5 地域連携パスを整備し、運用を図る。
- 6 地域に根差した医療を継続して提供するため、情報収集・提供を行い、地域とのコミュニケーション活動を図る。

III 地域医療部の業務内容

1 前方看護師

- ・地域の医療機関等からの紹介患者の外来診療・検査（上部消化器管内視鏡・CT・MR・シンチ等）の予約受付
- ・企業等からの健康診断二次精査に関する受診者対応
- ・紹介元医療機関及び当院医師に対する診療情報提供書の依頼
- ・診療情報提供書作成支援
- ・他院から当院への転院調整
- ・病院・診療所等の情報検索
- ・地域医療連携に関するパンフレット等作成

2 後方看護師

- ・病棟カンファレンスに参加し、患者の症状確認と退院調整への介入
- ・ケースワーカーとの連携による退院調整
- ・施設基準に関する情報収集、院内調整、統計資料作成
- ・訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所との連携
- ・他院の退院調整看護師との連携

- 3 ケースワーカー
 - ・入院患者の退院支援
 - ・患者・家族への施設紹介
 - ・退院日程の調整、退院後における医師、施設との連携

- 4 緩和ケアコーディネーター
 - ・緩和ケア内科初診予約
 - ・緩和ケアに関する研修計画及び調整

- 5 がん相談員
 - ・がんに関する相談
 - ・セカンドオピニオン受付

- 6 事務（委託を含む）
 - ・地域医療機関への広報（外来診療表等）の送付
 - ・症例検討会、市民公開講座等の企画・運営
 - ・がん検診、特定検診、人間ドック等に関する受付業務、統計資料等作成
 - ・（仮称）健康管理センター開設準備
 - ・地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院申請に関する事務

IV 地域医療部の重点課題

井田病院地域医療部は、部の理念に掲げているとおり「地域医療機関との円滑な医療連携を図り、質の高い、安全で安心な医療サービスを地域住民に提供」するため、日々業務に取り組んでおります。そして、次の3点を部の重点課題としております。

1 地域がん診療連携拠点病院の認定更新

井田病院は『地域がん診療連携拠点病院』として、がんに関する検診から診療、そして在宅医療・訪問看護から終末期における緩和ケアまで行っております。

また、地域の医師や医療従事者との合同症例検討会・がんセンターボードや、医療関係者に対する緩和ケア講習会、地域住民へのがんに関する市民公開講座なども開催しており、まさにがんに対するトータルな診療、ケアを提供できる病院です。

川崎南部医療圏の『地域がん診療連携拠点病院』として、地域医療機関との連携を一層推進し、地域におけるがん診療の拠点としての役割を全うしなければなりません。

2 地域医療支援病院の承認

国が推し進める医療政策として『地域医療支援病院制度』があります。これは、「医療施設機能の体系化の一環として、患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましい」という観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を

通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有するものについて、都道府県知事が個別に承認している。」ものです。

地域医療部では、地域連携を推進するうえでの目標として、『地域医療支援病院』の承認を目指しております。

地域医療支援病院の申請には、前年度の実績が要件を満たしていることが必要となります。2013年度の当院の実績は要件を満たしておらず、2014年度の申請はかなわないものとなりました。

要件を満たすためには、地域の医療機関との連携を進めていくこと、一つ一つの医療機関との連携を深めていくことが不可欠です。

3 (仮称)健康管理センターの立ち上げ

井田病院は川崎市が実施しているがん検診、特定健診の実施医療機関として、2013年度は6655件もの検診・健診を行っております。このほかに人間ドックや自費検診等を2013年度は2380件行っております。

井田病院再編整備構想により、2015年度から(仮称)健康管理センターが井田病院内にオープンする予定です。井田病院内の院内委員会である検診等運営委員会が中心メンバーとなり、同センターの立ち上げに向けて作業を進めております。

V 2013年度の実績

2013年度の地域医療部の実績については次のとおりです。

なお、この実績は、医師、看護師、コメディカル等、様々な職種の職員皆様による日々の業務の積み重ねや支援により築き上げられたものです。この場をお借りして御礼申し上げますとともに、より一層の地域連携のため、今後も御協力をお願いいたします。

1 病診連携業務(予約業務、返書、診療情報提供書管理業務等)

地域の医療機関から診察・検査・転院・救急外来受診等の紹介依頼を受け付けた。

また、継続的なフォローアップなど、地域の医療機関への通院が適切な場合は、患者の紹介元であった地域の医療機関へ再び紹介する業務(逆紹介業務)を推進した。

2 退院支援業務

地域の医療機関と連携を図り、患者様の入院早期から受け持ち看護師、退院調整看護師及び医療ソーシャルワーカーが協同して退院に向けて準備を整え、退院後の在宅・転院相談など患者様・御家族が安心して退院を迎えられるように支援を行った。

3 広報業務・地域医療研修等業務

月初めに近隣医療機関に外来診療表を発送した。このほか、市民公開講座を6回、放射線治療・化学療法研修会を1回開催した。

4 地域がん治療連携計画策定料の連携保険医療機関（2014年3月31日現在）

連携保険医療機関名	がんの種類
Kークリニック	前立腺がん
いずみ泌尿器科皮フ科	前立腺がん
山越泌尿器クリニック	前立腺がん
あおば江田クリニック	前立腺がん
中村クリニック泌尿器科	前立腺がん
よこはま乳腺・胃腸クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肺がん
山高クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん
せやクリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん
いしいクリニック乳腺外科	乳がん
神田クリニック	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
たかはし内科	肺がん
玉川医院	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
さかもと内科クリニック	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
たかみざわ医院	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
中島クリニック	乳がん・胃がん・大腸がん・肺がん
徳植医院	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん
中橋メディカルクリニック	胃がん・大腸がん
つむらや内科	乳がん・胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん・ 前立腺がん
八木医院	大腸がん・肝臓がん・肺がん
大倉山記念病院	胃がん・大腸がん・肝臓がん・肺がん

5 紹介患者数、逆紹介患者数

	2012年度	2013年度
紹介患者数	5683人	6504人
逆紹介患者数	4994人	5991人

注1) 紹介患者数は、紹介状持参患者数

注2) 逆紹介患者数は、診療情報提供料算定患者数

6 紹介率、逆紹介率

	2012年度	2013年度
紹介率	49.5%	48.9%
逆紹介率	53.9%	61.4%

7 市民公開講座開催実績

月日	場所	講師	テーマ
9月5日	井田病院会議室	婦人科 植木有紗	遺伝性のがん ～家族性腫瘍について～
9月17日	井田病院会議室	呼吸器外科 安彦智博	ちょっと知っておきたい肺がんの話 ～早期肺がんの自覚症状って？内視鏡手術ってどんな傷？治療期間は？～
10月4日	井田病院会議室	外科 有澤淑人	大腸がんから命を守るには ～必要なヒントをお伝えします～
12月12日	井田病院会議室	乳腺外科 嶋田恭輔	もしも、乳癌になったら・・・
1月31日	井田病院会議室	健康福祉局 岡部信彦	インフルエンザを知る ～季節性インフルエンザから鳥インフルエンザ、新型インフルエンザまで～
2月14日	ミュージア川崎	内科 伊藤大輔	消化器がんの予防と検診

8 放射線治療・化学療法研修会実績

開催日： 9月3日

場 所： 井田病院会議室

テーマ	講師
化学療法の副作用対策	ケアセンター 医師 西智弘
血管外漏出について	看護部 がん化学療法看護認定看護師 三好しのぶ
抗がん剤の血管外漏出とその対応	薬剤部 がん薬物療法認定薬剤師 荒井園枝
放射線治療の副作用 ～放射線皮膚炎について～	放射線診断科 放射線治療専門放射線技師 医学物理士 山本桂一

(文責 地域医療部担当課長 岡部 和代)